

キラビト

一人ひとりが輝き、住み慣れた町で必要な自分となるために

2011年3月11日に発生した東日本大震災。気仙沼にも大きな被害をもたらしました。あれから5年を迎える今。気仙沼が持つ地域の特性。三陸南部の商業の拠点であり、沿岸漁業・養殖漁業・遠洋漁業と水産加工業も合わせた水産業の拠点。さらに、三陸海岸を望む観光地でもあります。今回は、そんな気仙沼の地において、大きな被害を乗り越え新たな町の創生に取り組んでいる人々の声を改めて聴き、高齢者に限らず、障がい者、子ども、その他一人ひとりが輝き、住み慣れた町で必要な自分＝「キラビト」となるために、地域の生活者である自分自身がなすべき事について、皆さんとともに思いを巡らせ、自分に何ができるのか考えていきたいと思います。

気仙沼市中央公民館（気仙沼市魚市場前1-1）

2016年2月13日（土）13:30～16:00

要予約
参加無料



プログラム

13:00 開場 受付

13:30 開会 挨拶

13:35 第1部 基調講演

14:30 「キラビト～一人ひとりが輝き、住み慣れた町で必要な自分となるために～」

● 片山秀光 さん（気仙沼市地福寺住職）

<10分休憩>

14:40 第2部 シンポジウム

「キラビト～一人ひとりが輝き、住み慣れた町で必要な自分となるために～」キラビトが語る私の輝き方
コーディネーター

● 平岡善浩さん（宮城大学事業構想学部デザイン情報学科）

パネリスト

● 塚本卓さん（気仙沼まちづくり支援センター）

● 鈴木美和子さん（気仙沼あそびーばーの会）

● 菅原信治さん（NPO 法人海べの森をつくろう会）

● 池田修さん（気仙沼市大谷公民館館長）

16:00 閉会



第1部 基調講演

片山 秀光 (気仙沼市地福寺住職)



2011年3月11日に東日本大震災により落慶間もない本堂、庫裡、花園会館が被災。九死に一生を得た秀光和尚が故郷の人々を励まし続け、被災された人々を慈しみ一日も早い復興をとの想いを世に発信していかなければならないと、バイソン片山(実弟)と和尚ゆかりのミュージシャンとで活動を再開した。祥の教えを元にした法話と音楽で、被災地の現実を語り唄う「語り部」として全国行脚を続けている。

パネリスト

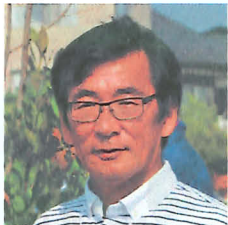
塚本 卓 (気仙沼まちづくりセンター センター長)



1966年3月生まれ。東日本大震災時まで「リアス・アーク美術館」勤務。被災記録作成補助を行う。その後、2011年7月から2013年3月まで「一般社団法人気仙沼復興協会」で仮設住宅のコミュニティ支援活動に従事。2013年5月からは、「特定非営利活動法人気仙沼まちづくりセンター」の新たなる部署(気仙沼まちづくり支援センター)のセンター長としてまちづくりの支援活動を行っている。

パネリスト

菅原 信治 (NPO 法人海への森をつくろう会理事長)



昭和35年1月、気仙沼市本吉町に菓子職人の両親のもとに誕生。宮城県立津谷高等学校卒業後、地元の本吉町津谷農業協同組合へ入社。震災後は、東芝コンシューマー・マーケティング復興支援員として被災者支援に従事。現在、NPO 法人海への森をつくろう会で、自然保護活動や社会教育活動を通し、自然豊かなふるさとを目指した活動に取り組んでいる。

第2部 シンポジウム

コーディネーター

平岡 善浩 (宮城大学事業構想学部デザイン情報学科 教授)



建築設計、まちづくり、コミュニティデザインが専門。震災後、南三陸町の住まいの高台移転や浸水低地の利用について、住民や行政と協力しながら計画策定プロセスの支援・研究を行っている。また、東北の歴史文化や環境、人材など魅力的で豊富な地域資源を、評価・活用し、地域を元気にする研究も行っている。

パネリスト

鈴木 美和子 (気仙沼あそびばーの会代表)



2013年4月1日、地域で子どもが遊べる居場所を永く継続していくため会を設立。津波で一度は流されたふるさとを、輝くような楽しい思い出のふるさとに育てていくとともに、遊び場のモデルとして「遊ぶ」大切さを広く伝えていき、子どもはもちろん、親もお年寄りも集える、子どもを中心としたコミュニティの場作りを目指している。

パネリスト

池田 修 (気仙沼市大谷公民館館長)



東日本大震災時、気仙沼市産業部水産課に所属。自宅を被災しながらも、水産業をはじめとする気仙沼市の基幹産業の復旧事業等に取り組む。東北労働金庫気仙沼支店推進委員会委員長、気仙沼地方労働者福祉協議会副会長及び同顧問を歴任、気仙沼・本吉地域の勤労者福祉の向上等にも尽力。



気仙沼市中央公民館

988-0037 宮城県気仙沼市魚市場前1-1
0226-22-6760

JRバス 河原田バス停よりすぐ / 駐車場あり



お申し込み方法

参加申し込みフォームに必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申し込みください。

FAX 022-264-1209 E-mail minmin@minmin.org ※個人に関する情報は、本セミナー開催の目的以外には使用しません。

参加お申し込みフォーム

お名前 (ふりがな)

団体名・所属先

ご住所

TEL

FAX

E-mail

お問い合わせ先

特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター (担当 / 田口・小川)

980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 2-6-27 岡元ビル 7F

TEL 022-264-1281 FAX 022-264-1209 E-mail minmin@minmin.org URL http://www.minmin.org